

# 「スパイラル®迷惑メール対策の取組状況

迷惑メールの対応の在り方に関する検討WG  
第3回会合説明資料

PIPED BITS

2010年11月29日  
株式会社パイプドビット  
遠藤慈明

## 1. パイプドビットと電子メールの関係

- (1) 会社概要
- (2) プラットフォームサービス「スパイラル®」の概要
- (3) 利用ユーザー

## 2. 迷惑メール対策の概要

- (1) 契約時の確認と利用規約
- (2) オプトイン、オプトアウト管理機能の提供
- (3) 配信エラーのメンテナンス機能の提供
- (4) なりすましメール対策

会社名 株式会社パイプドビット  
(英文社名: PIPED BITS Co.,Ltd.)

設立日 2000年(平成12年) 4月3日

事業内容 データベース・プラットフォーム事業

Web <http://www.pi-pe.co.jp/>

認定



IS 90515 / ISO (JIS Q) 27001



ITMS 513019 / ISO (JIS Q) 20000



FS 501308 / ISO 9001:2008



0008-0805

プライバシーマーク 10820057(05)

ISO/IEC 27001:2005 / JIS Q 27001:2006 (IS90515)

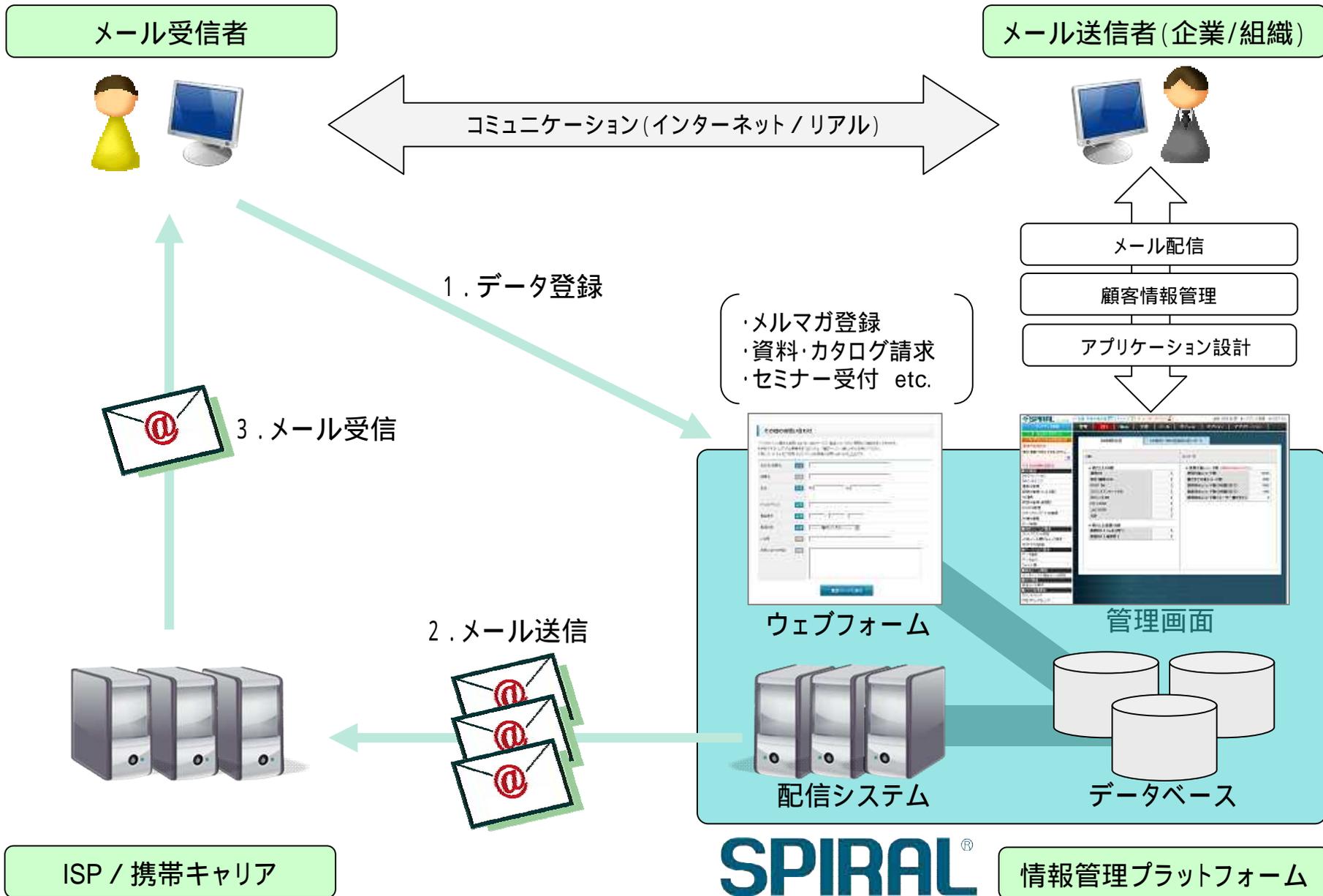
ISO/IEC 20000-1:2005 / JIS Q 20000-1:2007 (ITMS513019)

ISO 9001:2008 (FS501308)

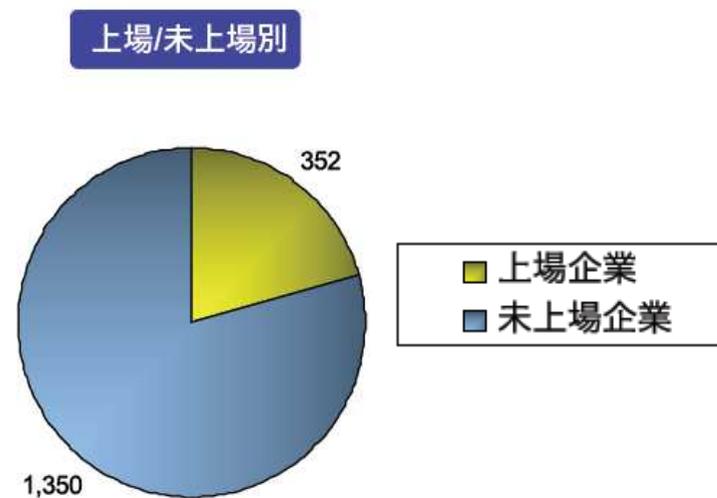
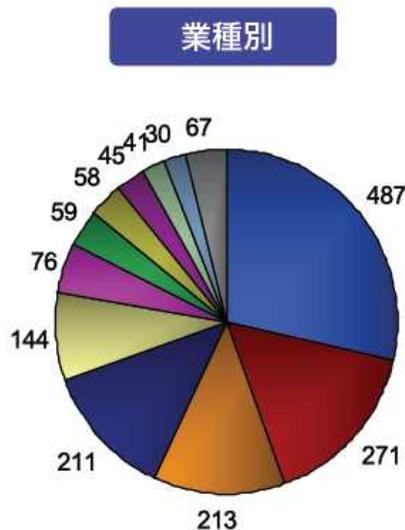
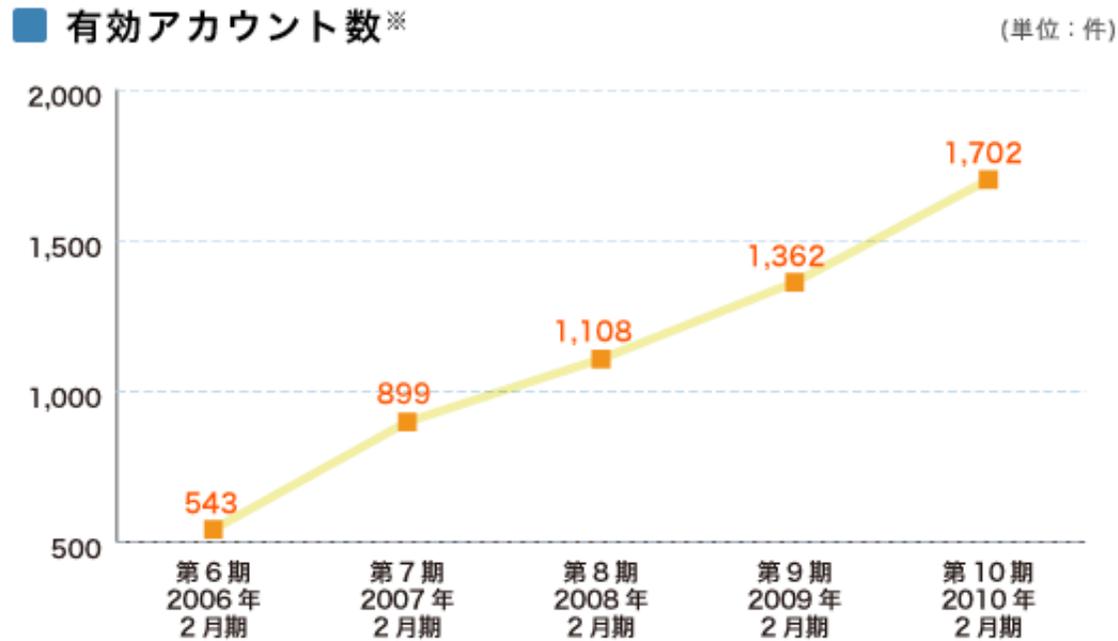
ASP・SaaS 安全・信頼性に係る情報開示認定制度

ISO/IEC 20000-1:2005/JIS Q 20000-1:2007 (ITMS 513019)認証の登録範囲は、  
ASP事業における保守・サポート業務の提供をサポートするITサービスマネジメントシステムです。

# スパイラル®の概要



# 「スパイラル®」利用ユーザー (2010年2月末時点)



有効アカウント数・・・継続利用中のクライアント

- ・ 利用ユーザーやコンテンツは、契約時の確認や規約で対応。
- ・ オプトインや配信エラー等の技術的な管理は、機能を提供。

## 対策1. 契約時の確認と利用規約

利用企業の検査の実施と規約を規定し、不適切なコンテンツのメールが送信されないように予防

- ・ サービス契約時の企業情報の確認
- ・ 利用規約による禁止行為の規定

## 対策2. オプトイン、オプトアウト管理機能の提供

Webフォームで受け付けるオプトイン、オプトアウト情報を適切に管理する機能を提供

- ・ オプトイン情報のデータベース機能
- ・ オプトイン情報のウェブ表示機能
- ・ オプトアウト申請の自動処理機能

## 対策3. 配信エラーのメンテナンス機能の提供

宛先不明アドレスを多く含むリストのメール送信による受信側負荷を低減し、メールが届きやすい環境を提供

- ・ エラー情報のデータベース反映機能
- ・ 送信時のエラーリスト除外機能

## 対策4. なりすましメール対策

サービス利用組織から送信するメールが正当な送信者から配信であることを受信者に伝える

- ・ SPFレコードの公開
- ・ DKIM署名付きメール送信機能

組織の確認とメールコンテンツの禁止行為を規定しています。

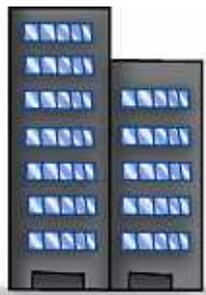
サービス契約時の確認項目

- ・反社会的勢力との関係
- ・利用目的
- ・財務状況

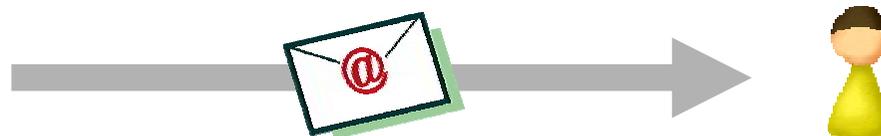
利用規約による禁止行為の規定

- ・特電法、特商法等の定めに違反する表示
- ・犯罪を勧誘または助長する表示
- ・公序良俗に反する表示  
等

利用企業

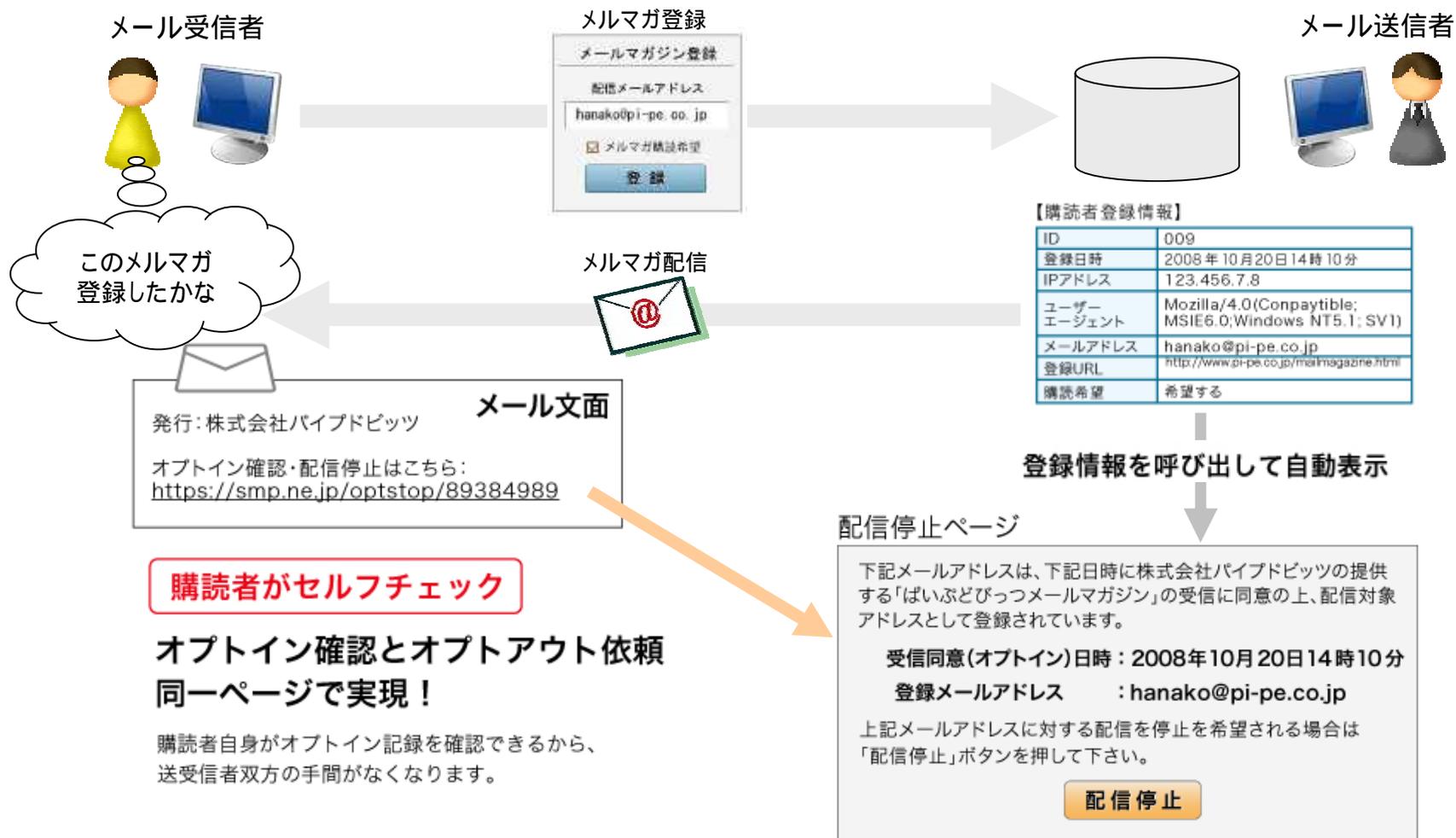


送信メール

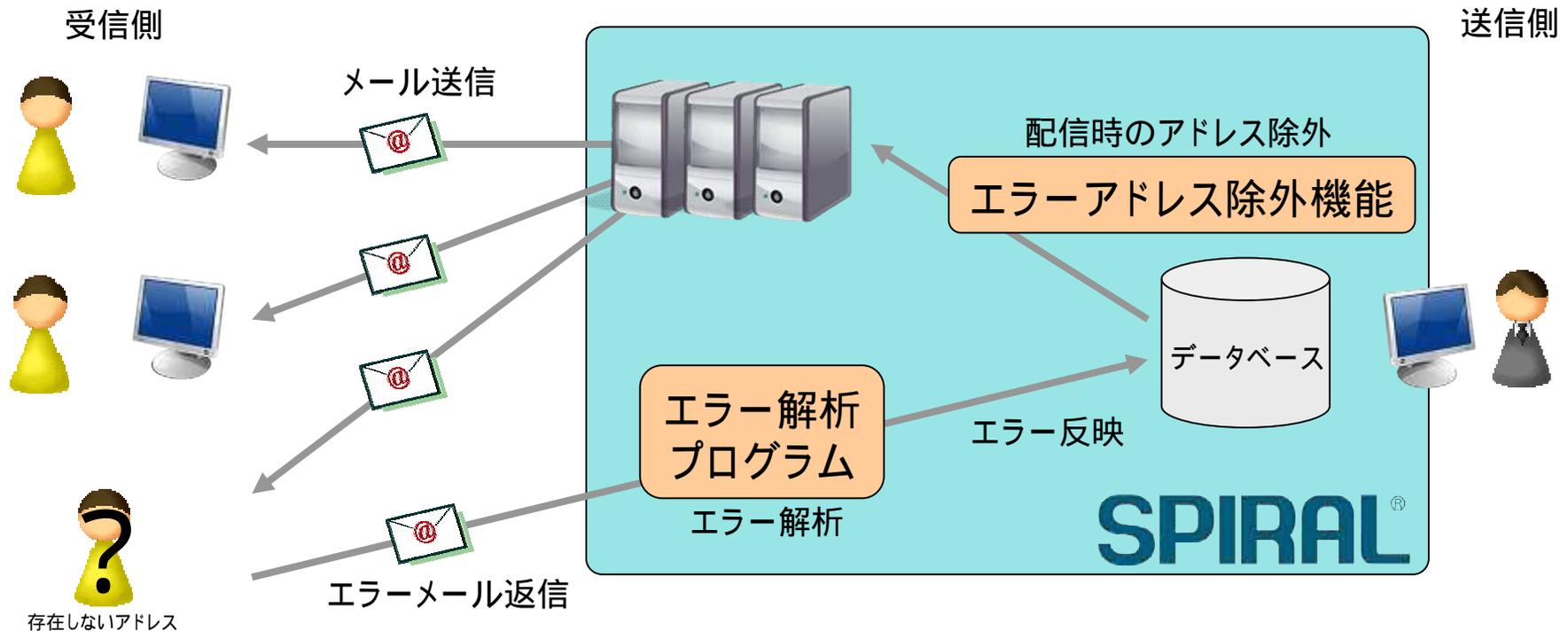


当社サービス「スパイラル®」が適正に利用されるよう、サービス契約時に企業情報を確認し、消費者に被害が発生すると予想される組織の利用を拒否します。また、配信するメールのコンテンツについては、禁止行為を規定し、当該行為を発見した場合は配信の停止またはサービスの使用停止の措置を講じています。

オプトイン、オプトアウトを一元管理する機能を提供。  
 メール受信者自身で完結し、送信者の管理ストレスを軽減。



エラーメールの解析プログラムとエラーアドレス除外機能を提供。



宛先不明アドレスを多く含むメール送信は、受信側の受信負荷を高める行為であり、アドレス収集を目的とした迷惑メール送信業者と認識されやすい為、返信されるエラーメールを解析し、エラー状況をデータベースに反映します。また、送信時には無意味な送信を避ける為、恒久的なエラーが発生したアドレスには、配信リストから除外する機能を提供しています。

恒久的なエラー：存在しないアドレスに送信する等、何度送信しても届かないメールに対するエラー

2つの送信ドメイン認証技術に対応し、信頼性の高いメール送信を実現。

スパイラル®から配信するメールが、正当な送信者から配信されたメールであることを受信側に宣言する為に、2種類の送信ドメイン認証技術に対応しています。

**SPF**  
(送信サーバで認証)

送信元サーバーも送信ドメイン(MAIL FROM)もスパイラルで完結している為、スパイラル®の送信ドメインのDNSにSPFレコードを公開しています。なお、SenderID認証を実施している一部の受信プロバイダ向けに宛先に応じてメールヘッダにSenderを表示する対応もしています。

**DKIM**  
(電子署名で認証)

『 配信する全てのメールにDKIM署名を付与します。』  
(2010/12/15対応予定)



全てのメールに  
パスポートを。

パイプドビットによる第三者署名を実施することで、DKIM署名を全ユーザーの配信するメールに付与します。作成者署名についても設定の支援機能を提供いたします。

株式会社パイプドビットはDKIMの普及を目的とした団体「dkim.jp (Japan DKIM Working Group)」の発起メンバーとして、活動しています。

# PIPED BITS